

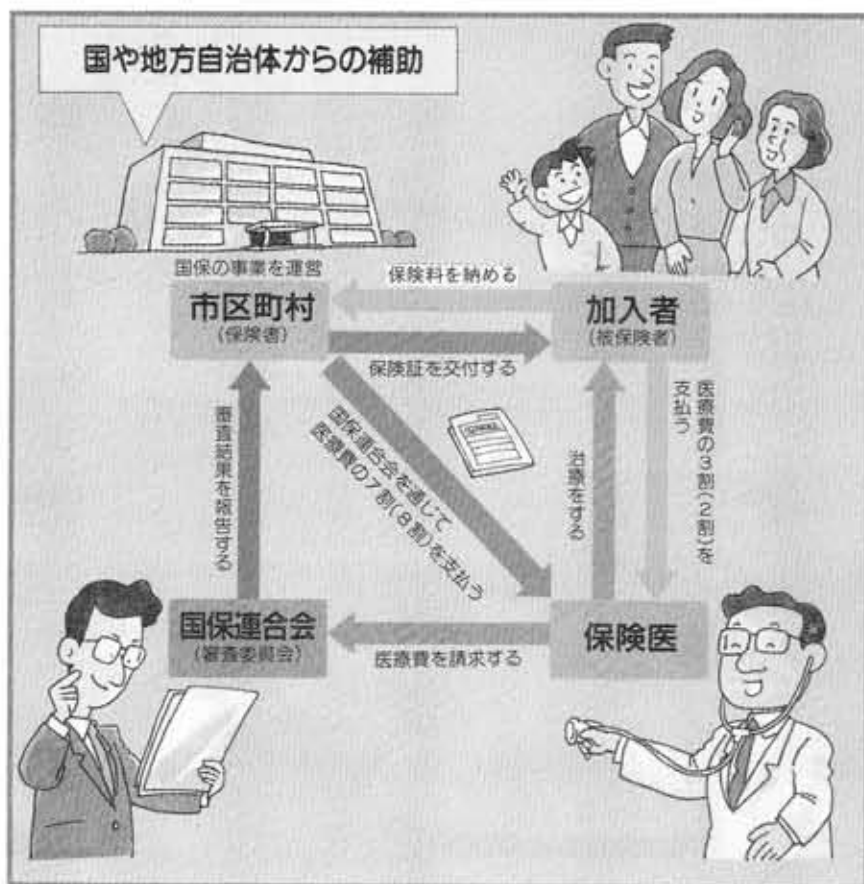
国民健康保険を考えよう ①

みんなで支える健康と福祉



医療費の増加が国保を苦しめています
みなさんの保険料が国保を支えています

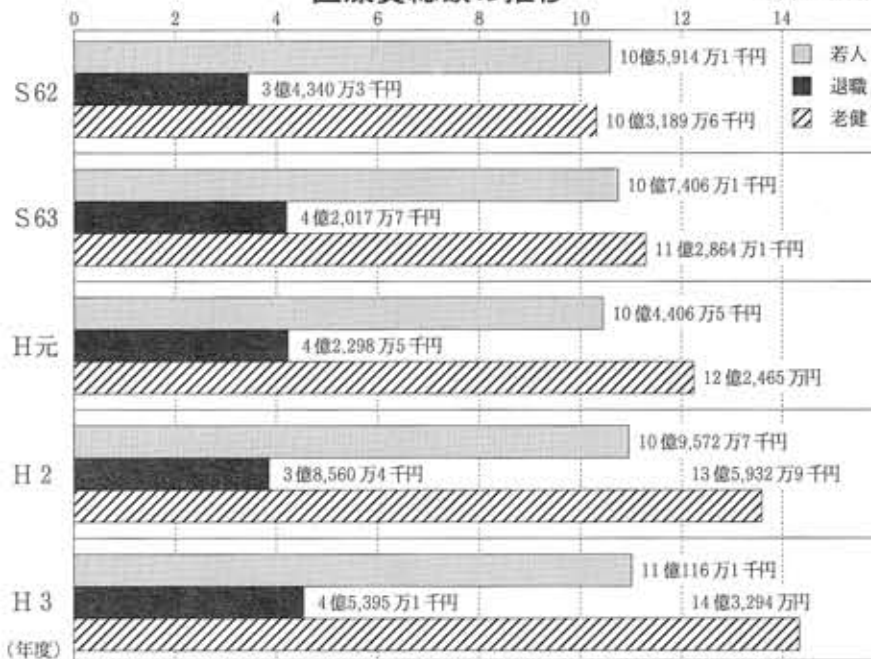
国保のしくみ



国民健康保険(国保)は、市民のみなさんの健康を守る大切な制度です。長い人生のなかで、いつ、どこで大きな事故や病気に見舞われるか予測ができません。そこで、日ごろから病気になるないように、また、いざというときに安心して治療を受けられるように、みなさんに納めていただく保険料と国や市などが負担する費用とで、健康の保持と増進のための給付や事業を行っていきこうというのが、この制度なのです。

現在、向日市の国保加入者の医療費総額は、年間約30億円と増大してきており、国保会計を圧迫しています。市民のみなさんとともに向日市の国保財政の現状について考えていきたいと思えます。

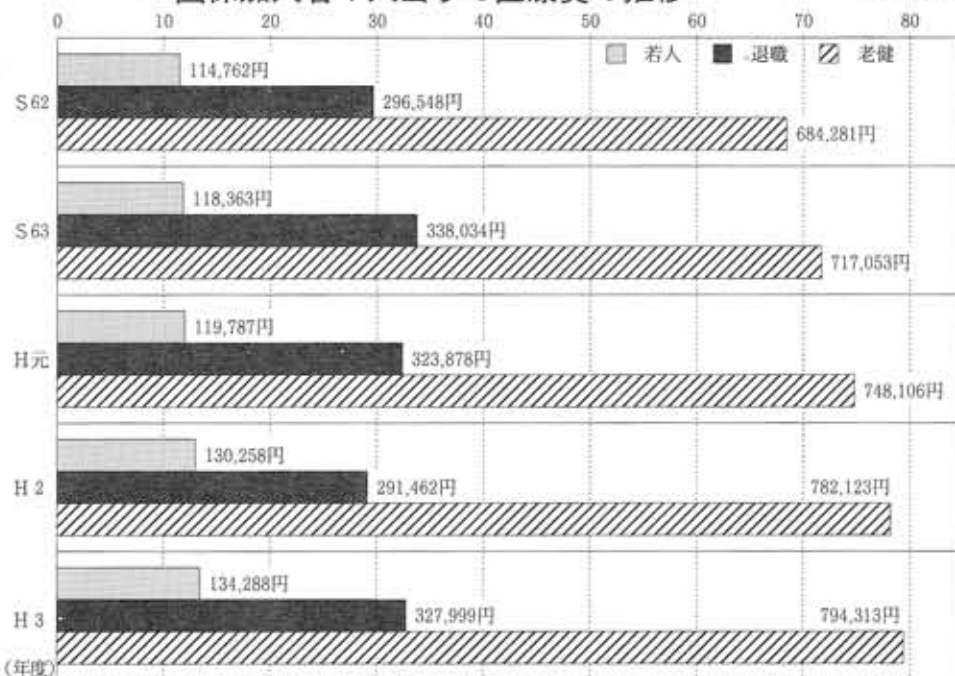
医療費総額の推移 (単位: 億円)



医療費は、毎年増加し続け、平成3年度の医療費総額は、約29億8,800万円、平成2年度に比べ5.2%増えています。

平成3年度国保加入者 若人8,200人・退職1,384人・老健1,804人 合計11,388人

国保加入者1人当りの医療費の推移 (単位: 万円)



国保加入者1人当りの医療費は、平成3年度で退職者が若人の2.4倍、老健が約6倍となっています。

医療費の推移

[退職]: 会社などに勤めていて退職し、年金をもらっている人。

[老健]: 70歳(一定の障害がある場合は65歳)以上の人。

[若人]: 上記以外の一般被保険者